

令和7年度 自己評価・学校関係者評価結果報告書

学校法人愛輪学園 鹿浜愛育幼稚園

1. 教育方針・目標

【教育方針】

幼児が生き生きと意欲的に活動できる環境を整え、健全な心身の発達を助長することを目指す。

- ・生命の尊重：すべての命あるものに対して思いやりの心を育てる
- ・感謝と反省：感謝の心と自らを振り返る心を育てる
- ・社会性：家族や地域の人と関わり、正しい生活習慣を身につける
- ・心身の育成：体育活動による体力作りや、音楽指導等を通じた豊かな感性と協調性を育む

【教育目標】

- 喜んで集団生活に参加し、自主性を育てる
- 優しい思いやりのある心を育てる
- 健康で安全な基本的生活習慣を養う

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・園生活の中で様々な経験ができるよう環境を整え、子ども達が意欲的に参加できるようにする
- ・基本的生活習慣の定着を図り、自主的に行動する力を多方面で発揮できるように援助する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	自己評価	取り組み状況
1	保育の在り方	A	教育方針を軸に、学年や子どもの個性に応じた保育内容・カリキュラムを検討し、他学年とも共有することができた。また、自由保育の時間を増やすことで、子ども達が主体的に活動できる場面を広げることができた。
2	職員の資質向上 保育の質の向上	A	職員が必要と判断した研修を受講し、その内容を全職員で共有することで、園全体の保育改善と教員の資質向上に努めた。さらに、毎週の全体会議で子どもの様子や学年の取り組みを共有し、保育や行事に反映させることで、園全体の見直しにもつながった。
3	保育環境	A	基本的生活習慣の定着に向けて、一つひとつ丁寧に声を掛けながら園児と共に取り組んだ。子どもの動きを踏まえ、安全に過ごせるよう、日々の清掃や準備の際に園庭・園内の安全維持に努めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の教育方針に沿って目標を設定し、保育活動に取り入れることが園全体で検討されている。

子ども達がそれぞれの思いや力を発揮できるよう、カリキュラムや園生活、行事等を工夫し、積極的に参加できる姿が見られる。今後も引き続き、さらなる保育の充実を図るよう努めていく。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園生活の充実	自由保育や園外保育（アウトイングキャンプ）を取り入れ、子ども達が自ら選択して遊び込めるよう環境設定や準備を工夫する。 また、友だちとの関わりが深まるよう、適切な言葉かけや気づきを大切にしていく。
2	園行事のあり方	気候変動や共働き家庭の増加といった社会状況を踏まえ、子ども達にとってより良い行事の在り方や準備・進行方法を検討する。保護者・職員双方が楽しみながら参加できる行事となるよう工夫し、引き続き保護者の利便性を考慮した行事の分散も検討する。
3	職員の資質向上	職員が必要とする研修を全員が受講し、スキルアップや保育改善に努める。 また、週1回の全体会議で子どもの様子やカリキュラムの立案について話し合い、園全体で保育の見直しを継続する。

6. 学校関係者の評価

日々の保育や園行事には保育者の工夫が見られ、子ども達が安全にのびのびと活動している様子がうかがえます。園・保護者・地域が一体となって子ども達の成長を見守っていることが感じられ、職員全体での会議や準備が日々の教育活動にしっかりと反映されていると思います。

また、ホームページやインスタグラムで配信される子ども達の豊かな表情から、園生活の充実が伝わってきます。